



2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年5月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 めぶきフィナンシャルグループ
 コード番号 7167 URL <https://www.mebuki-fg.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 笹島 律夫
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部統括部長 (氏名) 小野 利彦 TEL 029-300-2605
 定時株主総会開催予定日 2020年6月24日 配当支払開始予定日 2020年6月2日
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月25日 特定取引勘定設置の有無 有
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日~2020年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	282,737	△1.8	53,179	△23.5	36,370	△21.5
2019年3月期	288,139	9.8	69,533	9.4	46,338	7.5

(注) 包括利益 2020年3月期 △20,483百万円(−%) 2019年3月期 46,335百万円(18.4%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	経常収益 経常利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	31.14	31.12	4.0	0.3	18.8
2019年3月期	39.47	39.45	5.1	0.4	24.1

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 ー百万円 2019年3月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	17,804,808	882,235	4.9	760.78
2019年3月期	17,372,575	919,547	5.2	783.67

(参考) 自己資本 2020年3月期 881,986百万円 2019年3月期 919,314百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計ー期末新株予約権ー期末非支配株主持分)を期末資産の部の合計で除して算出しております。なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	356,104	176,093	△50,146	1,916,659
2019年3月期	6,087	△211,514	△54,944	1,434,627

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	—	5.50	—	5.50	11.00	12,903	27.8	1.4
2020年3月期	—	5.50	—	5.50	11.00	12,829	35.3	1.4
2021年3月期(予想)	—	5.50	—	5.50	11.00		38.6	

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	23,500	△26.4	15,500	△31.2	13.37
通期	48,500	△8.7	33,000	△9.2	28.46

※注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
 ② ①以外の会計方針の変更： 無
 ③ 会計上の見積りの変更： 無
 ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期	1,179,055,218株	2019年3月期	1,179,055,218株
② 期末自己株式数	2020年3月期	19,745,475株	2019年3月期	5,971,713株
③ 期中平均株式数	2020年3月期	1,167,915,641株	2019年3月期	1,173,785,377株

（参考）個別業績の概要

2020年3月期の個別業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	15,124	△24.6	13,408	△27.5	12,445	△27.2	12,787	△27.6
2019年3月期	20,074	0.2	18,498	0.6	17,110	3.9	17,669	4.1

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	10.94	10.94
2019年3月期	15.05	15.04

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	740,609	646,913	87.3	557.80
2019年3月期	776,704	650,954	83.7	554.71

（参考）自己資本 2020年3月期 646,664百万円 2019年3月期 650,721百万円

（注）「自己資本比率」は、（期末純資産の部合計－期末新株予約権）を期末資産の部の合計で除して算出しております。
 なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・ 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後の様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

【添付資料】

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	4
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 企業集団の状況	5
3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
4. 連結財務諸表	
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 継続企業の前提に関する注記	14
(6) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	14
(7) 連結財務諸表に関する注記事項	14
5. 役員の変動	16
6. (参考) 主要な連結子会社の業績の概要	
(1) 個別業績の概要 (株式会社常陽銀行)	16
(2) 個別業績の概要 (株式会社足利銀行)	22
※ 2019年度決算説明資料	別添

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

① 経営成績

2019年度のわが国経済は、年度前半は米中貿易摩擦の影響等から輸出や生産の一部に弱さが見られたものの、個人消費の持ち直しの動きや雇用環境の改善を背景に緩やかな景気回復基調が続きました。しかし、年度後半は、消費税率引上げや大規模な台風災害によって消費が弱含むなか、新型コロナウイルス感染症の流行が世界的に拡大し、これに伴う経済活動の縮小懸念が強まり、景気は年度末にかけて急減速に転じました。

当社グループの主要営業地盤である北関東地域においても、わが国経済と同様、台風災害や新型コロナウイルス感染症の影響を受け、年度末にかけて景気が減速に転じました。

金融市場は、年末までは円の対米ドル相場が概ね1ドル・106円から110円台、日経平均株価が概ね20,000円から24,000円台、長期金利も概ねマイナス0.1%台の水準で推移しましたが、年度末にかけて新型コロナウイルス感染症の影響拡大から、値動きが激しくなりました。対米ドル相場は、一時1ドル・101円台まで円高ドル安が進み、日経平均株価は一時16,000円台まで大きく下落しました。また、長期金利は景気減速懸念や財政支出拡大への警戒などから乱高下しました。

こうした環境のもと、当社グループは、2019年度より「第2次グループ中期経営計画」(計画期間：2019年度から2021年度までの3年間)を新たにスタートし、諸施策を展開いたしました。上記中期経営計画では、「地域とともに成長するビジネスモデルの構築」、「生産性向上に向けた構造改革」、「価値創造を担う人材の育成」の3つを基本戦略に掲げ、「地域の未来を創造する総合金融サービスグループ」を目指しております。

「地域とともに成長するビジネスモデルの構築」では、子銀行である常陽銀行、足利銀行(以下、常陽銀行と足利銀行をあわせて「両子銀行」といいます。)の法人向けコンサルティング営業体制を強化し、取引先事業者の経営課題の解決、両子銀行のネットワークを活用した販路拡大や新事業の創出支援に取り組みました。多くの取引先事業者にとって課題となっている人手不足への対応では、常陽銀行子会社での人材紹介事業への参入(2018年10月)に続き、当年度は足利銀行でも人材紹介事業を開始し、人材調達ニーズにお応えする体制を拡充いたしました。また、最先端技術を有するベンチャー企業の支援に向けた「つくばエクシードファンド」の組成、M&A業務におけるChance地銀共同化行^(注)との広域連携や地域事業者のIT利活用支援に向けた特定非営利活動法人ITコーディネータ協会との連携体制の構築など、取引先事業者の事業支援を強化いたしました。

個人のお客さまには、資産形成、次世代へのスムーズな資産承継をお手伝いするため、保険や相続の専用相談窓口の設置や金融ジェロントロジーへの対応を進め、相続に関連した金銭・遺言信託及び遺産整理業務の取り扱いを強化いたしました。さらに、消費者の利便性向上と店舗事業者の決済業務の効率化に向けキャッシュレス決済の環境整備を進めたほか、2020年2月に株式会社りそなホールディングスとデジタル分野における共同研究を開始し、新たなデジタルバンキングサービスの提供を通じた地域経済への更なる貢献を目指しております。

また2019年度は、令和元年台風第19号等が当社グループの主要営業地盤に甚大な被害をもたらしましたが、災害支援融資商品の提供や休日相談窓口の設置等を通じた円滑な金融サービス機能の提供に加え、貴重品等のお預りサービスの無償提供など、当社グループをあげて地域の復旧・復興支援に全力を尽くしました。

「生産性向上に向けた構造改革」では、2020年1月に両子銀行の基幹システムを統合し、両子銀行共同でのサービス向上と業務効率化に向けた基盤を整備しました。また、足利銀行において品川法人営業所を開設し当社グループの営業エリアの拡大を進める一方で、両子銀行の店舗統廃合や店舗形態の見直しを進め、チャンネル・ネットワークの最適化に取り組みました。さらに、足利銀行において、常陽銀行と同様、高度な信用リスク計測手法である「基礎的内部格付手法」を導入するなど、当社グループとしてのリスク管理の高度化にも取り組みました。

「価値創造を担う人材の育成」では、ITやデジタル技術を活用できる人材の育成を目的とした「ITサービス創出ワークショップ」や女性従業員の活躍推進に向けた「めぶき女性塾」の開催、当社グループ女性従業員の制服統一など、新たな価値創造を担う人材の育成強化と当社グループの更なる融合に取り組みました。

以上のように、お客さまと地域の課題解決並びに当社グループの業績向上に向けた取り組みを推進した結果、当期における当社グループの連結経営成績は、経常収益が前年度比54億2百万円減少の2,827億37百万円となり、経常費用が前年度比109億51百万円増加の2,295億57百万円となりました。

この結果、経常利益は前年度比163億54百万円減少の531億79百万円となり、親会社株主に帰属する当期純利益は前年度比99億67百万円減少の363億70百万円となりました。

(注) 三菱UFJ銀行の勘定系・情報系などの基幹システムを基に構築した「Chance地銀共同化システム」を共同利用する地方銀行の広域連携。現在、当社グループ(常陽銀行、足利銀行)、百十四銀行、十六銀行、南都銀行、山口フィナンシャルグループ(山口銀行、もみじ銀行、北九州銀行)が参加しています。

② 今後の見通し

2020年度の業績につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響も含めた経営環境や市況動向等を踏まえ、以下の前提を置いた上で算定しております。

新型コロナウイルス感染症は2020年度上期中に収束に向かい、徐々に経済活動等も回復するものと見ます。但し、業種によっては売上減少など業績への影響が残り、与信関係費用に新型コロナウイルス感染症の影響として100億円を見込んでおります。

今後、新型コロナウイルス感染症の状況等に変化が生じ、業績予想の修正が必要となった場合には速やかに開示いたします。

【連結業績予想】

(連結業績予想)	めぶきFG	
	中間期	通期
経常利益	235億円	485億円
親会社株主に帰属する 当期(中間)純利益	155億円	330億円

【参考：主要な連結子会社の業績予想】

(単体業績予想)	2行合算		常陽銀行		足利銀行	
	中間期	通期	中間期	通期	中間期	通期
経常利益	225億円	470億円	165億円	305億円	60億円	165億円
当期(中間)純利益	165億円	335億円	115億円	210億円	50億円	125億円

(2) 当期の財政状態の概況

① 資産・負債・純資産の状況

当期の連結財政状態につきましては、総資産が前年度末比 4,322 億円増加の 17 兆 8,048 億円となり、純資産は前年度末比 373 億円減少の 8,822 億円となりました。

主要な科目につきましては、預金は、個人預金・法人預金がともに増加し、前年度末比 3,827 億円増加の 14 兆 7,566 億円、貸出金は、住宅ローンや中小企業向け融資への積極的な取り組み等により、前年度末比 2,200 億円増加の 11 兆 3,425 億円、有価証券は、相場動向に応じたポートフォリオ運営に取り組んだ結果、前年度末比 2,704 億円減少の 4 兆 761 億円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当期の連結キャッシュ・フローにつきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは 3,561 億円のプラス、投資活動によるキャッシュ・フローは 1,760 億円のプラス、財務活動によるキャッシュ・フローは 501 億円のマイナスとなりました。

これらにより、現金及び現金同等物の期末残高は 1 兆 9,166 億円となりました。

③ 自己資本比率の状況

当社の連結自己資本比率は 10.95%となりました。

また、連結子会社における自己資本比率は、株式会社常陽銀行が連結で 12.22%、単体で 11.72%となり、株式会社足利銀行が連結で 9.46%、単体で 9.15%となりました。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

剰余金の配当等会社法第 459 条第 1 項各号に定める事項については、法令に別段の定めがある場合を除き、株主総会決議によらず取締役会の決議とする旨を定款に定めております。

剰余金の配当につきましては、当社グループとしての成長に向けた資本の確保と、株主の皆さまへの適切な利益還元のバランスを考慮し、総還元性向 30%以上を目安といたします。水準等につきましては、引き続き検討してまいります。

当年度の期末配当につきましては、1 株当たり 5 円 50 銭の配当を行うことといたしました。なお、年間配当は 11 円となります(中間配当 5 円 50 銭)。

次期の配当につきましては、上記方針に則り、1 株当たり年間配当金 11 円(うち中間配当 5 円 50 銭)を予定しております。

2. 企業集団の状況

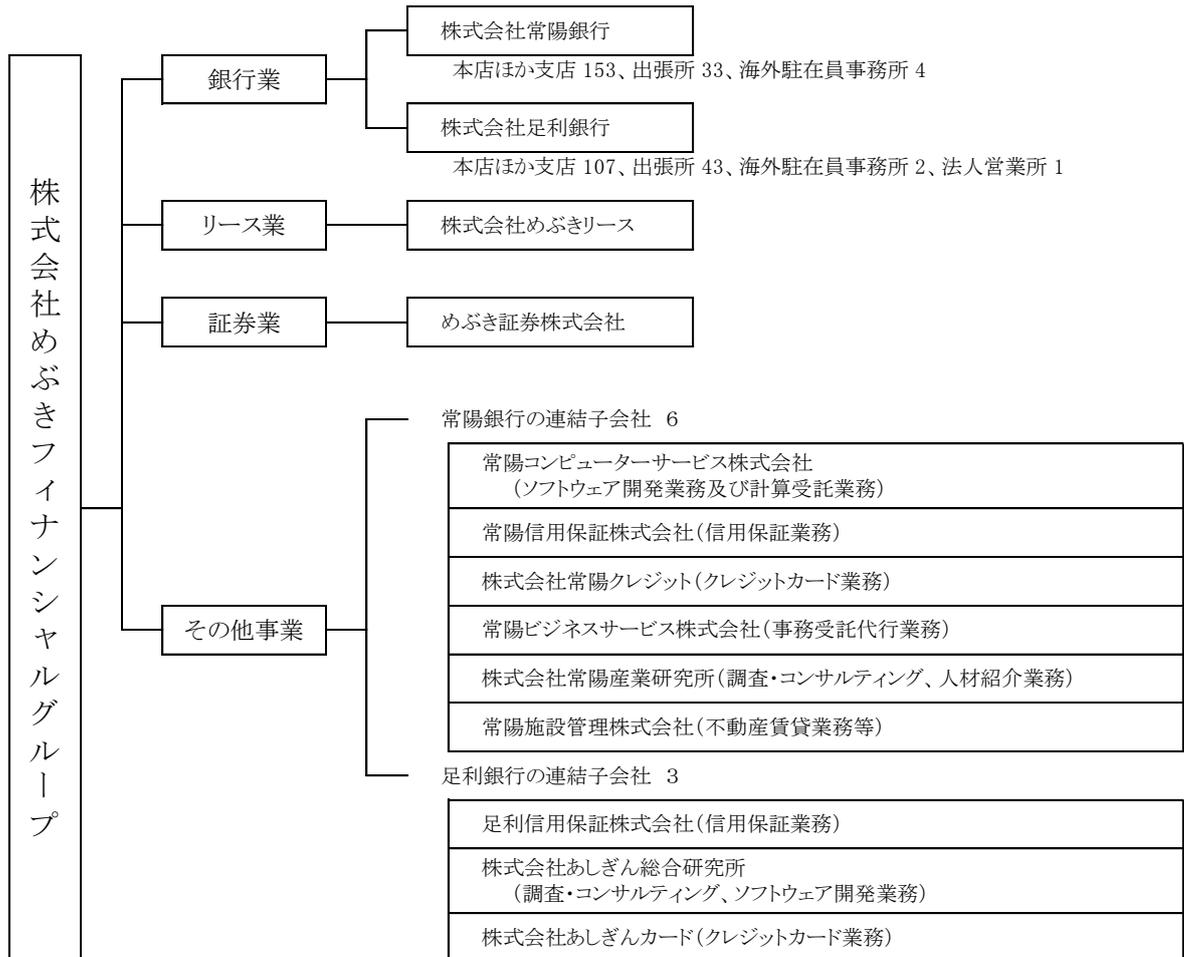
(1) 事業の内容

当社グループは、当社及び連結子会社13社で構成され、銀行業務を中心に、リース業務、証券業務、保証業務、クレジットカード業務などの金融サービスに係る事業を行っております。

当社は、当社の子会社に係る経営管理及びそれに附帯する業務を行っております。

(2) 事業系統図

2020年3月31日現在



(注)常陽キャッシュサービス株式会社は、清算終了(2019年8月9日)により連結の範囲から除いております。

3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、日本基準を適用しております。

なお、IFRS(国際会計基準)の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

4. 連結財務諸表

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
現金預け金	1,468,877	1,935,324
コールローン及び買入手形	10,389	18,754
買入金銭債権	15,152	11,849
特定取引資産	13,799	15,632
金銭の信託	23,175	1
有価証券	4,346,628	4,076,146
貸出金	11,122,484	11,342,541
外国為替	6,508	16,150
リース債権及びリース投資資産	62,653	67,710
その他資産	205,611	218,875
有形固定資産	112,518	109,693
建物	40,181	39,302
土地	59,047	58,044
リース資産	16	11
建設仮勘定	587	632
その他の有形固定資産	12,685	11,702
無形固定資産	18,388	19,316
ソフトウェア	14,237	15,706
その他の無形固定資産	4,150	3,609
退職給付に係る資産	16,550	17,814
繰延税金資産	1,583	1,920
支払承諾見返	21,442	23,029
貸倒引当金	△73,179	△69,658
投資損失引当金	△9	△292
資産の部合計	17,372,575	17,804,808
負債の部		
預金	14,373,888	14,756,658
譲渡性預金	282,158	283,131
コールマネー及び売渡手形	191,740	110,745
売現先勘定	120,832	129,195
債券貸借取引受入担保金	202,152	215,548
特定取引負債	1,065	1,770
借入金	1,053,077	1,252,801
外国為替	637	1,941
社債	5,000	5,000
新株予約権付社債	33,297	—
信託勘定借	566	1,573
その他負債	116,512	115,621
役員賞与引当金	284	237
退職給付に係る負債	7,429	8,724
役員退職慰労引当金	57	37
睡眠預金払戻損失引当金	3,253	2,874
偶発損失引当金	1,955	2,141
ポイント引当金	406	452
利息返還損失引当金	16	12
特別法上の引当金	2	2
繰延税金負債	27,241	1,365
再評価に係る繰延税金負債	8,823	8,680
負ののれん	1,185	1,027
支払承諾	21,442	23,029
負債の部合計	16,453,028	16,922,573

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
純資産の部		
資本金	117,495	117,495
資本剰余金	148,545	148,549
利益剰余金	523,792	547,270
自己株式	△2,026	△5,970
株主資本合計	787,807	807,345
その他有価証券評価差額金	123,042	69,821
繰延ヘッジ損益	△267	△1,068
土地再評価差額金	13,497	13,485
退職給付に係る調整累計額	△4,765	△7,597
その他の包括利益累計額合計	131,507	74,641
新株予約権	233	248
純資産の部合計	919,547	882,235
負債及び純資産の部合計	17,372,575	17,804,808

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
 連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
経常収益	288,139	282,737
資金運用収益	172,748	166,292
貸出金利息	113,944	112,331
有価証券利息配当金	57,377	52,674
コールローン利息及び買入手形利息	179	113
預け金利息	764	682
その他の受入利息	482	490
信託報酬	31	52
役務取引等収益	52,905	53,244
特定取引収益	2,418	3,840
その他業務収益	3,751	7,384
その他経常収益	56,284	51,922
償却債権取立益	2,237	2,178
株式等売却益	24,506	16,970
その他の経常収益	29,541	32,773
経常費用	218,606	229,557
資金調達費用	16,504	16,447
預金利息	6,030	5,361
譲渡性預金利息	86	68
コールマネー利息及び売渡手形利息	1,364	956
売現先利息	298	2,026
債券貸借取引支払利息	2,422	1,364
借入金利息	2,284	2,213
社債利息	132	132
その他の支払利息	3,886	4,325
役務取引等費用	14,078	14,719
その他業務費用	11,766	7,178
営業経費	119,636	119,630
その他経常費用	56,619	71,581
貸倒引当金繰入額	2,771	9,555
その他の経常費用	53,848	62,026
経常利益	69,533	53,179
特別利益	77	64
固定資産処分益	77	64
特別損失	3,193	1,669
固定資産処分損	446	557
減損損失	2,747	1,112
税金等調整前当期純利益	66,418	51,573
法人税、住民税及び事業税	21,683	17,264
法人税等調整額	△1,603	△2,061
法人税等合計	20,079	15,203
当期純利益	46,338	36,370
親会社株主に帰属する当期純利益	46,338	36,370

連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	46,338	36,370
その他の包括利益	△3	△56,853
その他有価証券評価差額金	2,314	△53,220
繰延ヘッジ損益	△211	△801
土地再評価差額金	2	0
退職給付に係る調整額	△2,109	△2,831
包括利益	46,335	△20,483
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	46,335	△20,483

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	117,495	148,541	489,697	△8	755,725
当期変動額					
剰余金の配当			△12,930		△12,930
親会社株主に帰属する当期純利益			46,338		46,338
自己株式の取得				△2,090	△2,090
自己株式の処分		3		72	76
土地再評価差額金の取崩			687		687
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	3	34,095	△2,017	32,081
当期末残高	117,495	148,545	523,792	△2,026	787,807

	その他の包括利益累計額					新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	120,727	△56	14,182	△2,656	132,197	216	888,139
当期変動額							
剰余金の配当							△12,930
親会社株主に帰属する当期純利益							46,338
自己株式の取得							△2,090
自己株式の処分							76
土地再評価差額金の取崩							687
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	2,314	△211	△685	△2,109	△690	16	△674
当期変動額合計	2,314	△211	△685	△2,109	△690	16	31,407
当期末残高	123,042	△267	13,497	△4,765	131,507	233	919,547

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	117,495	148,545	523,792	△2,026	787,807
当期変動額					
剰余金の配当			△12,904		△12,904
親会社株主に帰属する 当期純利益			36,370		36,370
自己株式の取得				△4,000	△4,000
自己株式の処分		4		56	60
土地再評価差額金の取崩			11		11
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	4	23,477	△3,944	19,537
当期末残高	117,495	148,549	547,270	△5,970	807,345

	その他の包括利益累計額					新株 予約権	純資産 合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	退職給付 に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	123,042	△267	13,497	△4,765	131,507	233	919,547
当期変動額							
剰余金の配当							△12,904
親会社株主に帰属する 当期純利益							36,370
自己株式の取得							△4,000
自己株式の処分							60
土地再評価差額金の取崩							11
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△53,220	△801	△11	△2,831	△56,865	15	△56,849
当期変動額合計	△53,220	△801	△11	△2,831	△56,865	15	△37,311
当期末残高	69,821	△1,068	13,485	△7,597	74,641	248	882,235

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：百万円)	
	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	66,418	51,573
減価償却費	8,762	8,608
減損損失	2,747	1,112
負ののれん償却額	△158	△158
貸倒引当金の増減(△)	△6,144	△3,521
投資損失引当金の増減額(△は減少)	—	283
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	154	△46
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△3,849	△2,596
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△234	△1,821
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△5	△20
睡眠預金払戻損失引当金の増減(△)	△528	△379
偶発損失引当金の増減額(△は減少)	352	186
ポイント引当金の増減額(△は減少)	112	45
利息返還損失引当金の増減額(△は減少)	3	△4
資金運用収益	△172,748	△166,292
資金調達費用	16,504	16,447
有価証券関係損益(△)	10,471	7,929
為替差損益(△は益)	△8,097	7,598
固定資産処分損益(△は益)	368	493
特定取引資産の純増(△)減	△1,259	△1,833
特定取引負債の純増減(△)	560	705
貸出金の純増(△)減	△624,507	△220,057
預金の純増減(△)	395,975	382,769
譲渡性預金の純増減(△)	9,518	973
借入金(劣後特約付借入金を除く)の純増減(△)	215,221	199,723
預け金(現金同等物を除く)の純増(△)減	△19,082	15,583
コールローン等の純増(△)減	4,482	△5,061
コールマネー等の純増減(△)	△148,800	△72,632
債券貸借取引受入担保金の純増減(△)	44,003	13,395
外国為替(資産)の純増(△)減	△92	△9,641
外国為替(負債)の純増減(△)	△71	1,304
リース債権及びリース投資資産の純増(△)減	△6,032	△5,056
信託勘定借の純増減(△)	554	1,006
資金運用による収入	171,997	168,513
資金調達による支出	△16,381	△17,285
その他	88,699	456
小計	28,916	372,302
法人税等の支払額	△22,828	△16,197
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,087	356,104
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△1,371,972	△815,535
有価証券の売却による収入	822,176	483,205
有価証券の償還による収入	374,002	493,125
金銭の信託の増加による支出	△23,175	—
金銭の信託の減少による収入	—	23,174
有形固定資産の取得による支出	△5,730	△3,519
有形固定資産の売却による収入	259	160
無形固定資産の取得による支出	△7,086	△4,365
その他	11	△151
投資活動によるキャッシュ・フロー	△211,514	176,093

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
劣後特約付借入金の返済による支出	△40,000	—
劣後特約付社債及び新株予約権付社債の償還による支出	—	△33,297
自己株式の取得による支出	△2,090	△4,000
自己株式の売却による収入	75	55
配当金の支払額	△12,930	△12,904
財務活動によるキャッシュ・フロー	△54,944	△50,146
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,432	△19
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△258,939	482,031
現金及び現金同等物の期首残高	1,693,567	1,434,627
現金及び現金同等物の期末残高	1,434,627	1,916,659

(5) 継続企業の前提に関する注記

該当ありません。

(6) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当ありません。

(7) 連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、銀行業務を中心とした総合金融サービスを提供しております。また、当社の取締役会や経営会議は、グループにおける経営資源の配分を決定し、業績を評価しております。なお、当社グループの報告セグメントは、銀行業務のみであります。銀行業務以外の事業については重要性が乏しいことから、セグメント情報の記載を省略しております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

1. サービスごとの情報

(単位:百万円)

	貸出業務	有価証券 投資業務	その他	合計
外部顧客に対する経常収益	113,944	82,695	91,499	288,139

(注) 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 経常収益

当社グループは、本邦の外部顧客に対する経常収益に区分した金額が連結損益計算書の経常収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

当社グループは、本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

特定の顧客に対する経常収益で連結損益計算書の経常収益の10%以上を占めるものがないため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

1. サービスごとの情報

(単位:百万円)

	貸出業務	有価証券 投資業務	その他	合計
外部顧客に対する経常収益	112,331	74,700	95,705	282,737

(注) 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 経常収益

当社グループは、本邦の外部顧客に対する経常収益に区分した金額が連結損益計算書の経常収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

当社グループは、本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

特定の顧客に対する経常収益で連結損益計算書の経常収益の10%以上を占めるものがないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

当社グループが営む銀行業務以外の事業については重要性が乏しいことから、記載を省略しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

当社グループが営む銀行業務以外の事業については重要性が乏しいことから、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	783円67銭	760円78銭
1株当たり当期純利益金額	39円47銭	31円14銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	39円45銭	31円12銭

(注) 1. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、次のとおりであります。

		前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
純資産の部の合計額	百万円	919,547	882,235
純資産の部の合計額から控除する金額	百万円	233	248
(うち、新株予約権)	百万円	233	248
普通株式に係る期末の純資産額	百万円	919,314	881,986
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数	千株	1,173,083	1,159,309

2. 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、次のとおりであります。

		当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり当期純利益金額			
親会社株主に帰属する当期純利益	百万円	46,338	36,370
普通株主に帰属しない金額	百万円	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益	百万円	46,338	36,370
普通株式の期中平均株式数	千株	1,173,785	1,167,915
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額			
親会社株主に帰属する当期純利益調整額	百万円	—	—
普通株式増加数	千株	594	760
うち、新株予約権	千株	594	760
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要		・2019年満期ユーロ米ドル建取得条項付転換社債型新株予約権付社債 (額面総額3億米ドル、 新株予約権の数3,000個)	(注)

(注) 2019年満期ユーロ米ドル建取得条項付転換社債型新株予約権付社債は、2019年4月24日に全て償還されております。

(重要な後発事象)

該当ありません。

5. 役員の異動

本日、別途開示いたします。

6. (参考) 主要な連結子会社の業績の概要

(1) 個別業績の概要 (株式会社常陽銀行)

1. 2020年3月期の個別業績 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	150,564	△0.5	35,685	△17.4	24,653	△14.1
2019年3月期	151,341	9.5	43,210	16.9	28,729	12.6

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期	10,911,493	577,446	5.2
2019年3月期	10,562,699	612,351	5.7

(参考) 自己資本 2020年3月期 577,446百万円 2019年3月期 612,351百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権)を期末資産の部の合計で除して算出しております。

なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

個別財務諸表
貸借対照表

【株式会社常陽銀行】
(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
資産の部		
現金預け金	726,456	1,118,929
現金	74,798	81,421
預け金	651,657	1,037,508
コールローン	9,546	12,778
買入金銭債権	7,271	5,901
特定取引資産	10,817	13,124
商品有価証券	1,555	938
特定金融派生商品	2,261	3,186
その他の特定取引資産	6,999	8,999
有価証券	3,025,904	2,837,426
国債	489,769	396,695
地方債	750,572	772,555
社債	572,147	577,468
株式	243,451	197,215
その他の証券	969,963	893,491
貸出金	6,594,731	6,759,983
割引手形	18,973	15,772
手形貸付	233,311	208,398
証書貸付	5,786,745	5,975,603
当座貸越	555,702	560,209
外国為替	3,420	10,224
外国他店預け	2,494	9,387
買入外国為替	63	51
取立外国為替	861	784
その他資産	80,821	83,685
未決済為替貸	612	501
前払費用	627	712
未収収益	8,701	7,646
先物取引差入証拠金	160	160
金融派生商品	6,023	7,367
金融商品等差入担保金	936	1,871
その他の資産	63,759	65,427
有形固定資産	77,171	74,635
建物	27,986	26,896
土地	43,740	42,807
リース資産	1,320	1,227
建設仮勘定	411	3
その他の有形固定資産	3,713	3,700
無形固定資産	8,531	7,998
ソフトウェア	5,183	5,170
リース資産	301	193
その他の無形固定資産	3,046	2,634
前払年金費用	6,365	7,102
支払承諾見返	44,283	12,897
貸倒引当金	△ 32,610	△ 32,903
投資損失引当金	△ 9	△ 292
資産の部合計	10,562,699	10,911,493

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
負債の部		
預金	8,729,187	8,973,110
当座預金	204,190	206,070
普通預金	5,700,961	6,012,238
貯蓄預金	42,644	42,639
通知預金	13,838	13,100
定期預金	2,494,799	2,437,754
その他の預金	272,752	261,306
譲渡性預金	85,123	84,279
コールマネー	59,542	73,257
売現先勘定	62,482	67,430
債券貸借取引受入担保金	84,286	110,835
特定取引負債	1,065	1,770
特定金融派生商品	1,065	1,770
借入金	786,125	938,779
借入金	786,125	938,779
外国為替	351	1,689
売渡外国為替	230	402
未払外国為替	120	1,287
社債	5,000	5,000
信託勘定借	566	1,199
その他負債	40,275	35,559
未決済為替借	407	207
未払法人税等	2,291	1,839
未払費用	7,006	6,578
前受収益	2,670	3,087
従業員預り金	1,694	1,739
金融派生商品	4,845	4,869
金融商品等受入担保金	1,783	2,403
リース債務	1,621	1,420
その他の負債	17,954	13,413
役員賞与引当金	154	121
退職給付引当金	8,301	7,618
睡眠預金払戻損失引当金	2,261	1,923
ポイント引当金	114	121
偶発損失引当金	949	952
繰延税金負債	32,131	9,501
再評価に係る繰延税金負債	8,143	8,000
支払承諾	44,283	12,897
負債の部合計	9,950,348	10,334,047

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
純資産の部		
資本金	85,113	85,113
資本剰余金	58,574	58,574
資本準備金	58,574	58,574
利益剰余金	337,172	352,538
利益準備金	55,317	55,317
その他利益剰余金	281,855	297,221
固定資産圧縮積立金	1,092	1,090
別途積立金	222,432	222,432
繰越利益剰余金	58,331	73,698
株主資本合計	480,859	496,225
その他有価証券評価差額金	119,723	69,472
繰延ヘッジ損益	△ 171	△ 180
土地再評価差額金	11,940	11,928
評価・換算差額等合計	131,491	81,220
純資産の部合計	612,351	577,446
負債及び純資産の部合計	10,562,699	10,911,493

損益計算書

【株式会社常陽銀行】

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
経常収益	151,341	150,564
資金運用収益	98,077	100,893
貸出金利息	64,082	63,264
有価証券利息配当金	33,074	36,802
コールローン利息	139	99
預け金利息	419	325
その他の受入利息	361	401
信託報酬	31	46
役務取引等収益	25,709	26,145
受入為替手数料	6,094	6,059
その他の役務収益	19,614	20,086
特定取引収益	362	517
商品有価証券収益	32	56
特定金融派生商品収益	328	459
その他の特定取引収益	1	1
その他業務収益	1,954	6,666
外国為替売買益	1,379	934
国債等債券売却益	574	4,940
金融派生商品収益	—	790
その他の業務収益	0	0
その他経常収益	25,206	16,295
償却債権取立益	1,540	1,128
株式等売却益	22,691	14,391
その他の経常収益	973	775
経常費用	108,131	114,879
資金調達費用	8,134	9,132
預金利息	3,893	3,760
譲渡性預金利息	24	23
コールマネー利息	283	623
売現先利息	16	378
債券貸借取引支払利息	114	38
借入金利息	1,449	1,550
社債利息	132	132
金利スワップ支払利息	1,944	2,150
その他の支払利息	274	474
役務取引等費用	8,535	8,992
支払為替手数料	1,308	1,319
その他の役務費用	7,226	7,672
その他業務費用	8,186	5,934
国債等債券売却損	7,962	5,934
金融派生商品費用	224	—
営業経費	66,892	64,791
その他経常費用	16,381	26,027
貸倒引当金繰入額	386	5,196
偶発損失引当金繰入額	131	276
投資損失引当金繰入額	—	452
ポイント引当金繰入額	114	121
貸出金償却	4,920	5,200
株式等売却損	9,931	13,087
株式等償却	279	686
その他の経常費用	617	1,004
経常利益	43,210	35,685

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
特別利益	77	24
固定資産処分益	77	24
特別損失	2,638	1,357
固定資産処分損	266	257
減損損失	2,372	1,099
税引前当期純利益	40,648	34,353
法人税、住民税及び事業税	11,709	10,851
法人税等調整額	210	△ 1,151
法人税等合計	11,919	9,699
当期純利益	28,729	24,653

(2) 個別業績の概要 (株式会社足利銀行)

1. 2020年3月期の個別業績(2019年4月1日~2020年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	96,231	△11.4	16,335	△42.9	11,245	△64.0
2019年3月期	108,706	9.7	28,655	△8.4	31,291	46.5

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
2020年3月期	6,948,735		348,091		5.0	
2019年3月期	6,899,280		348,699		5.0	

(参考) 自己資本 2020年3月期 348,091百万円 2019年3月期 348,699百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計-期末新株予約権)を期末資産の部の合計で除して算出しております。

なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

個別財務諸表
貸借対照表

【株式会社足利銀行】
(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
資産の部		
現金預け金	741,475	816,321
現金	65,894	72,909
預け金	675,581	743,411
コールローン	843	5,976
買入金銭債権	7,881	5,947
商品有価証券	2,982	2,507
商品国債	140	133
商品地方債	1,027	749
商品政府保証債	1,814	1,624
金銭の信託	23,175	1
有価証券	1,338,495	1,257,599
国債	205,462	176,497
地方債	188,204	171,168
社債	217,243	252,643
株式	72,405	64,273
その他の証券	655,179	593,016
貸出金	4,657,025	4,717,392
割引手形	26,401	20,232
手形貸付	216,892	207,066
証書貸付	3,988,333	4,033,118
当座貸越	425,398	456,975
外国為替	3,088	5,925
外国他店預け	2,976	5,843
買入外国為替	2	—
取立外国為替	109	82
その他資産	82,670	86,845
未決済為替貸	88	385
前払費用	255	269
未収収益	6,620	6,311
先物取引差金勘定	8	—
金融派生商品	3,849	4,749
金融商品等差入担保金	123	1,866
その他の資産	71,725	73,262
有形固定資産	28,608	28,201
建物	10,009	10,324
土地	12,588	12,527
リース資産	8	19
建設仮勘定	175	629
その他の有形固定資産	5,826	4,700
無形固定資産	9,480	10,940
ソフトウェア	8,956	10,429
その他の無形固定資産	524	511
前払年金費用	20,764	23,351
繰延税金資産	2,475	4,903
支払承諾見返	10,456	10,131
貸倒引当金	△ 30,142	△ 27,311
資産の部合計	6,899,280	6,948,735

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
負債の部		
預金	5,709,204	5,813,460
当座預金	226,128	218,581
普通預金	3,620,511	3,779,540
貯蓄預金	74,356	73,382
通知預金	9,446	13,141
定期預金	1,612,524	1,577,250
定期積金	1,231	—
その他の預金	165,004	151,564
譲渡性預金	263,084	265,902
コールマネー	132,198	37,487
売現先勘定	58,349	61,765
債券貸借取引受入担保金	117,866	104,712
借入金	229,574	276,937
借入金	229,574	276,937
外国為替	286	251
売渡外国為替	100	97
未払外国為替	185	154
信託勘定借	—	374
その他負債	27,229	27,132
未決済為替借	5,552	3,098
未払法人税等	1,645	508
未払費用	6,361	5,917
前受収益	884	1,352
給付補填備金	0	—
先物取引差金勘定	—	19
金融派生商品	3,478	5,574
金融商品等受入担保金	1,302	1,395
リース債務	9	21
その他の負債	7,995	9,244
役員賞与引当金	121	108
睡眠預金払戻損失引当金	992	951
偶発損失引当金	1,005	1,189
ポイント引当金	210	237
支払承諾	10,456	10,131
負債の部合計	6,550,580	6,600,643
純資産の部		
資本金	135,000	135,000
利益剰余金	181,429	188,074
利益準備金	23,417	24,337
その他利益剰余金	158,011	163,736
繰越利益剰余金	158,011	163,736
株主資本合計	316,429	323,074
その他有価証券評価差額金	32,365	25,905
繰延ヘッジ損益	△ 95	△ 888
評価・換算差額等合計	32,270	25,016
純資産の部合計	348,699	348,091
負債及び純資産の部合計	6,899,280	6,948,735

損益計算書

【株式会社足利銀行】
(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2018年 4月 1日 至 2019年 3月31日)	当事業年度 (自 2019年 4月 1日 至 2020年 3月31日)
経常収益	108,706	96,231
資金運用収益	78,765	69,016
貸出金利息	48,772	47,945
有価証券利息配当金	29,474	20,596
コールローン利息	41	13
預け金利息	344	356
その他の受入利息	132	104
信託報酬	—	5
役務取引等収益	22,100	21,670
受入為替手数料	4,687	4,791
その他の役務収益	17,413	16,878
その他業務収益	3,320	927
外国為替売買益	1,603	514
商品有価証券売買益	12	—
国債等債券売却益	1,653	174
金融派生商品収益	50	238
その他の業務収益	0	0
その他経常収益	4,519	4,611
償却債権取立益	239	439
株式等売却益	3,383	2,911
その他の経常収益	895	1,261
経常費用	80,050	79,895
資金調達費用	7,711	6,769
預金利息	2,203	1,605
譲渡性預金利息	68	51
コールマネー利息	1,081	332
売現先利息	281	1,648
債券貸借取引支払利息	2,308	1,325
借入金利息	135	135
金利スワップ支払利息	—	1,042
その他の支払利息	1,633	626
役務取引等費用	7,162	7,515
支払為替手数料	916	1,102
その他の役務費用	6,246	6,413
その他業務費用	5,013	1,285
商品有価証券売買損	—	9
国債等債券売却損	5,013	1,265
国債等債券償還損	—	9
営業経費	49,088	51,078
その他経常費用	11,075	13,246
貸倒引当金繰入額	1,268	4,652
貸出金償却	3,280	4,164
株式等売却損	5,146	2,900
株式等償却	0	191
貸出金売却損	17	—
その他の経常費用	1,362	1,338
経常利益	28,655	16,335

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
特別利益	12,024	44
固定資産処分益	24	44
関係会社受取配当金	12,000	—
特別損失	841	298
固定資産処分損	165	287
減損損失	676	10
税引前当期純利益	39,837	16,081
法人税、住民税及び事業税	8,351	4,341
法人税等調整額	195	495
法人税等合計	8,546	4,836
当期純利益	31,291	11,245